

旧久米民之助洋館を上之町に移築

9月定例会市議会の最終日に旧久米民之助洋館を東京都渋谷区から上之町に移築するための補正予算が提案され、全会一致で可決されました。

可決された予算は、移築解体工事費に792万円、建物等調査業務委託料の160万円で、合計960万円の予算です。

移築される建物は、木造平屋建てで面積は約90㎡、大正期に建てられた洋館で、セッション様式の外観を持っており、旧紀州徳川家の迎賓館としても使われていました。

沼田市では、上之町ですすめている「大正ロマン」のまちづくりに活用する予定です。



コロナ禍の子どもたちにきめ細かな対応を

大東議員は一般質問で、コロナ禍のなか行事の中止や行動の制限を受けている子どもたちのケアをすすめるとともに、きめ細かな対応ができるよう少人数学級や教師の増員などを求めました。

教育長は、「新型コロナウイルス感染症により不安や悩みを抱えている生徒がいることから、スクールカウンセラーの活用や外部機関との連携も図



るよう学校に指示し、生徒が達成感や充実感を味わえるよう教育委員会として支援したい」と答えました。

少人数学級や教師の増員については、「半数程度の学校に「学習指導員」の配置が決定され、学校に対しどのような人的支援ができるか検討したい」と答えました。

栗原川林道の再開通を求める請願を採択

沼田山岳会から提出された「栗原川林道の再開通及び継続管理を求める請願」は、9月23日の本会議で全会一致で採択されました。

請願は、崩落などで通行止めとなっている栗原川林道の再開通と継続管理を沼田市などに要請することを求めるものです。

林道の崩落(写真)箇所などの復旧には、1~2億円の経費がかかるといわれています。



沼田城跡発掘調査と真田信之について特別講演会

歴史資料館でおこなわれていた「第8回企画展 沼田城跡」に合わせ特別講演会が9月27日、テラス沼田5階議場Waltz ホールで開かれました。

講演会では、これまでの沼田城跡発掘調査で発見された、西櫓台の石垣や堀跡などについて職員から紹介されました。

つづいて黒田基樹駿河台教授による「沼田城主 真田信之」の講演がおこなわれました。



こんにちは 大東のぶゆきです



こんにちは。菅首相は、「デジタル庁」設置や携帯電話料金の引き下げなどを看板政策に掲げ、「成果」や「スピード」を強調していますが、それに対して、「森友」「加計」「桜を見る会」などの疑惑解明や再調査には、まったく動こうとしません。

菅首相は、行政の縦割りや既得権益を打破するとか、「規制改革」をおこなうと繰り返していますが、行政機構の改革を言いつのならば、官僚らの忖度、公文書の改ざん、隠ぺい、国会での虚偽答弁などの疑惑を解明し、政治姿勢を改めることが最優先の課題です。

菅首相は官房長官時代に「加計」疑惑に関連した文書を、「怪文書」呼ばわりして隠ぺいを図り、「桜を見る会」疑惑でも参加したマルチ企業幹部との関係が取りざたされている当事者であり、河井克行元法務大臣と妻の案里参議院議員の選挙買収事件でも、熱心に案里氏を支援しており、国民に説明する責任があるなど、「不都合な遺産」である疑惑にフタをすることは許されません。

続ぶらり散歩 めまた道 利根町あれこれ 特別編その八十一

利根町の蚕影山

利根沼田の市町村では、養蚕が盛んにおこなわれていましたが、いつごろからはじまったのかは不明といわれています。

貞享3年(1686)の「高戸谷村御検地水帳」には、「上畑桑有」「上畑桑少」と



の記載があり、このころには畑に桑が植えられていたことがわかります。

しかし、このころの桑は桑園ではなく、畑の境に植えられていたようです。

江戸時代後期になると養蚕は、重要な現金の収入源となり、大間々の市場で取引されていました。

養蚕が農家経営の重要な柱になるにつれ、その成否がその家の収入を大きく左右するようになるにつれ、蚕の豊作を祈願する蚕の神様(蚕影山)が利根町の各地でも祀ら



れるようになったと思われます。

上の写真は、輪組の蚕影山の文字塔で、台座には右山道 左日光と彫られています。

下の写真は、青木の蚕影山文字塔で、その下が日影南郷の蚕影山文字塔で、一番下の写真は高戸谷の蚕影山の石宮です。

